

2019年6月2日(日)朝10:10～ 主の復活節第7、自由交歓会等
6月第1聖餐総員共同主日礼拝式説教 日本アライアンス庄原基督教会

説教題：**真実の預言者がきたときには**(17節)

聖書：マタイ 7章15～20節

＜口語訳＞

新約聖書10～ 頁

マタイ 7章15～20節

＜新共同訳＞

新約聖書12～ 頁

マタイ 7章15～20節

＜新改訳第3版＞

新約聖書12～ 頁

マタイ 7章15～20節＜塚本訳＞

新約聖書84～ 頁

主題：主イエス様から賜った聖霊の導き
によって主の弟子たちは、主の名による
神の罪からの救いを宣べ伝えたように、
私たちも、福音を伝えたい。

序論；

◇**マタイ書**は、**使徒マタイ**が、**ユダヤ人の立場で王なる救い主(メシヤ)なる神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。

◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の**山上の垂訓**あるいは**説教**と表現される箇所です。

◇本日は、**マタイ7:15～20**で、**マタイ7:13～14(狭い門・神のいのちの門・細い道)**を第1部とし、今日の箇所を第2部と理解することが一般的です。また、**マタイ7:15～23**を1つの使信と扱い、**マタイ7:21～23**を偽預言者に反省注意書、**マタイ7:15～20**を偽預言者を識別する注意書とし、役割分担と理解する意見もあります(**SY師**)。

⇒「**裁くな**」(1)、「**求めよ、さがせ、戸を叩け**」(7)、「**黄金律**」(12)、「**狭い門・細い道**」とつづく流れからの「**御子イエス・キリスト様**」の使信は、「**自分にしほしいことをほかの人にもする**」**「黄金律**」及び**マタイ7:24～25**の**岩の上の建物(教会)**を建てる知恵に集約される。

⇒識別力と洞察力が、ここでは必要です。

本論；

◇本日、**マタイ書7章15～20節**から主の**使信**に**思い・心**をとめます。

◆**マタイ7章15～20節**；使徒**マタイ**は、**神の御子イエス・キリスト様**が「**神の真の預言者**」の「**道**」を**進む**ように**求め**ておられます。

◇**15～20節**；塚本訳◆**偽預言者** <15～20>

「15 偽預言者に用心せよ。(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である。

16 (結ぶ)実で偽預言者はわかる。茨から葡萄が、薊(あざみ)から無花果がとれようか。

17 (そのように、)善い木は皆良い実を結び、わるい木は悪い実を結ぶ。

18 善い木に悪い実がなることは出来ず、わるい木に良い実がなることも出来ない。

19 良い実を結ばない木はどんな木でも、切られて火の中に投げ込まれる。

20 それだから、(結ぶ)実で、偽預言者はわかるのである。」と、**使徒マタイ**は語っています。

◇**15～16節**；「**偽預言者に用心せよ**」、

①「(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である」、

②「(結ぶ) 実で偽預言者はわかる」、「茨から葡萄が、薊(あざみ)から無花果がとれようか」、

⇒①は、「**偽預言者の実態**」で、②は、「**偽預言者の性格**」で、「**偽預言者に用心せよ**」の実態と性格を示し、警告しています。

⇒「**偽預言者=への識別力**」、「**偽預言者=への洞察力**」が、「**偽預言者の実態**」と「**偽預言者の性格**」から働くように、「**御子イエス・キリスト様**」は、「**偽預言者に用心せよ**(実態を識別せよ、性格から洞察せよ)」とっておられるのです。

⇒「**黄金律**」に全く欠け、「岩の上に家(教会)を建てる**知恵**」も、全く備えていない「**偽預言者**」の姿が、見えてくるのです。

⇒**OA師**は、「**御子イエス・キリスト様**」が、「**偽預言者**」の登場を契機に、「このわたしの中に(イザヤやエレミヤの預言者時代)新しい決定的な預言が復活したのが分かるか」と、問われたと仰せです。

⇒「**偽預言者**」は、「**真の預言者・主ご自身**」が、あって、「**偽預言者の本領**」を示すのです。

◇**17～20節**；「(そのように、) 善い木は皆良い実を結び、わるい木は悪い実を結ぶ」と、「**偽預言者に用心せよ**」を識別を再確認し、「善い木に悪い実がなることは出来ず、わるい木に良い実がなることも出来ない」と、「**偽預言者の性格**」を洞察することを求め、「良い実を結ばない木はどんな木でも、切られて火の中に投げ込まれる」と、**7:20**で、**7:15**に帰り、「それだから、「(結ぶ) 実」(**偽者**の実態と性格)で、偽預言者はわかるのである」と、「**御子イエス・キリスト様**」は、全体を締め括られました。

⇒「**真の預言者・御子イエス・キリスト様**」が、復活なさって、教会は、復活の主の実態と性格を与えられる日が来ることを比喻で預言して下さいました。

⇒「善い木に悪い実がなることは出来ず、わるい木に良い実がなることも出来ない」、「(そのように、) 善い木は皆良い実を結び、わるい木は悪い実を結ぶ」と、「善い教会・善い牧師」は、「**良い実**」を実らせ、自分に人々の関心を惹きつけないのです。

⇒「**偽預言者・偽教会・偽牧師**」は、その実態「(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である」と「(結ぶ)実(性格)」でわかるのです。主の教会を目指す群れとそれを目指す牧会者であるかどうかで、教会の実態と性格、牧師の実態と性格が識別でき、その真実の姿を結ぶ実(性格)によって洞察できるのです。

⇒「結ぶ実」について、**OA師**は、「実」と言われた意味は、「長い時を経て徐々に生じるもの」と解することもできる、と仰せで、「**偽預言者**」は、「羊の毛」を身につけていますので、余計に識別が困難です。

⇒**ヨハネ黙示録**や**ヘブル書**で見てきたように、本物を識別し、洞察するには、**神信仰**と**忍耐**が必要です。

⇒「**偽預言者に警戒せよ**」、「(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である」、「(結ぶ)実で偽預言者はわかる」・「それだから、(結ぶ)実で、偽預言者はわかるのである」に尽きます。

⇒忠実に聖書に聴き、本物の主の福音を聴く。

結論；

- ◇**神**は、変わらない愛と思いやりの神です。
- ◇**マタイ書**は、使徒**マタイ**が、ユダヤ人の立場で**王なる救い主(メシヤ)**なる**神の御子イエス・キリスト**を証言した記録です。
- ◇**マタイ5～7章**は、**神の御子イエス・キリスト様**の山上の垂訓(説教)の箇所です。
- ◇本日は、**マタイ7章15～20節**も、で、**マタイ7:13～14(狭い門・神のいのちの門・細い道)**を第1部とし、今日の箇所を第2部と理解することが一般的です。また、**マタイ7:15～23**を1つの使信と扱い、**マタイ7:21～23**を偽預言者に反省注意書、**マタイ7:15～20**を偽預言者を識別する注意書とし、役割分担と理解する意見もあります(**SY師**)。
- ⇒「**裁くな**」(1)、「**求めよ、さがせ、戸を叩け**」(7)、「**黄金律**」(12)、「**狭い門・細い道**」とつづく流れからの「**御子イエス・キリスト様**」の使信は、「自分にしてほしいことをほかの人にもする」**「黄金律」**及び**マタイ7:24～25**の岩の上の建物(教会)を建てる知恵に集約される。
- ⇒識別力と洞察力が、ここでは必要です。

⇒「**御子イエス・キリスト様**」は、「**偽預言者**」が、「(やさしい)羊の皮をかぶって来るが、内側は強盗の狼である」であるという実態と、「**結ぶ実**」が、「(そのように、)善い木は皆良い実を結び、わるい木は悪い実を結ぶ」、「**良い実を結ばない木はどんな木でも、切られて火の中に投げ込まれる**」、「**それだから、(結ぶ)実で、偽預言者はわかるのである**」と、その性格が偽預言者であると洞察させると言われます。

⇒「**黄金律**」(7:12)、「**だから、何事によらず自分にしてもらいたいと思うことを、あなた達もそのように人にしなさい。これが律法と預言書(と[聖書]の精神)である。**」

⇒**7:24~25**；「**24 だから、以上のわたしの話を聞いてそれを行う者は皆、岩の上に家を建てた賢い人に似ている。**

25 雨が降って、大水が出て、風が吹いて、その家に襲いかかったが、倒れなかった。岩の上に土台があったからである」と、主は教会の実態を示し、土台という霊的性格・神信仰を基盤にしていますから時代の流れにも耐えるのです。